

学習指導案

日付	令和〇年〇月〇日 〇時間目		指導者	岐阜県立〇〇〇〇高等学校 〇〇 〇〇		
科目	プログラミング	使用教科書	最新プログラミング	使用教材	教科書 配付プリント	
指導学年	〇〇〇〇科 〇年〇組 〇名 男子〇名 女子〇名			使用教室	第1コンピュータ実習室	
単元名	第2章 アルゴリズム 第3節 応用的なアルゴリズム					
単元の目標	応用的な整列（クイックソート）の手法について知識と技術を学習する。					
時間配当	4時間		本時の位置	2時間目		
本時の主題	クイックソートのアルゴリズムについて理解を深めよう。					
評価の観点	クイックソートのアルゴリズムを正しく考察し、マクロ言語で適切に表現している。 【思考・判断・表現】					
	指導の内容・ねらい		学 習 活 動		指導上の留意点・観点別評価	
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標と学習内容の確認をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容を確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみを整えさせた上で授業を始めるよう注意する。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りをする。 前時に作図したフローチャートの動きを視覚的に提示し、トレースを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> クイックソートの特徴やアルゴリズムを確認し、配付されたプリントに記入する。 前時に作図したフローチャートを確認しながら、トレースする。 		<ul style="list-style-type: none"> 例を提示しながら、クイックソートの特徴やアルゴリズムを確認させる。 アルゴリズムにおいて、再帰的とは何かを確認させる。 PowerPoint を活用しながら動きを確認し、正しくトレースさせる。 	
	実習：Excel VBA でコーディングしよう					
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 前時に作図したフローチャートを Excel VBA で実装し、正しく整列できるか確認する。 実装が完了した生徒には、別の実習問題を提示し、取り組むよう指示する。 		<ul style="list-style-type: none"> 前時に作図したフローチャートを、Excel VBA でコーディングする。 実装が完了した場合、別の実習問題に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> 前時に作図したフローチャートを、Excel VBA でコーディングさせる。 プログラミングの理解度に合わせた座席とする。 複数の実習問題を準備しておく。 <p>○評価 クイックソートのアルゴリズムを正しく考察し、マクロ言語で適切に表現している。 【思考・判断・表現】 [評価方法]実習成果物、 配付プリント</p>	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめ 次回の内容の確認 		<ul style="list-style-type: none"> 配付プリントにまとめを記入する。 次回の内容を理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容について、挙手により確認をする。 	